

2年 国語「魅力的な提案をしよう」 「読書を楽しむ」

光村図書

本単元では、自分の選んだ本の魅力を紹介する活動を通して、論理的な構想や展開を考えて話す力を身につけることをねらいとし、将来的にも生きて働く力となることを意識させたい。また夏休みに読む本の参考となるようにする。

【1時】

- ・聞き手を意識した発表の工夫について学ぶ。
- ・学習のねらいを確認し、司書による実演を見ながらビブリオバトルの流れやルールについて知る。

【2時】

- ・紹介したい本の情報を集め、構成メモ作り
- ・聞き手を意識した発表の工夫。個人やペアで練習

【3時】

- ・グループに分かれてミニ・ビブリオバトルを行う。
- ・チャンプ本とグッドプレゼン賞を選ぶ。
- ・振り返り

魅力的な提案とはどのようなものなのかを考え、自分の発表に活かそう。

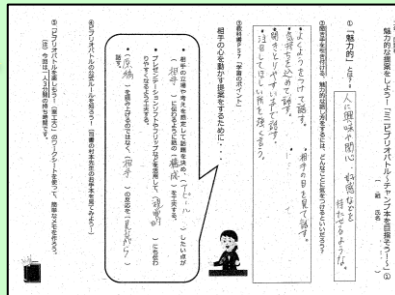
ビブリオバトルの流れやルールを説明

ビブリオバトルとは？

「人を通して本を知る、本を通して人を知る」
コミュニケーションゲーム



- ① 発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる。
- ② 順番に一人5分間で本を紹介し2～3分質疑応答
- ③ 最後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票をしてチャンプ本を決める。



構想メモの作成



ビブリオバトルを経験したことがない生徒も、司書が見本を示すことによってビブリオバトルの流れを理解できた。

質問に答えるバトラー

チャンプ本の投票

ディスカッションタイムでは、積極的に質問をして、場を盛り上げよう！

授業の様子

- ・今回、授業の中で、繰り返し「失敗することは恥ずかしいことではない。中学生の今だからどんどん失敗すればよい。失敗上等!」と声をかけた。その結果、ミニ・ビブリオバトルを行った際にはとても雰囲気良く、発表を苦手とする生徒も生き生きと自分のおすすめの本について語っていた。
- ・チャンプ本に選ばれた本もさまざまなジャンルに分かれており、読書の幅を広げるきっかけになったのではないと思う。
- ・心を動かすプレゼン（話し方）をする人は誰かなと真剣に聞く姿も大変良かった。
- ・プレゼンタイムいっぱい粘って話し続けようとする姿勢が良かった。ディスカッションタイムでは、「1人2回以上質問しよう!」という目標を立て、積極的に質問する姿もあった。質問例も提示していたが、オリジナルの質問も出てきて良かった。

生徒の振り返り

1時：司書の先生のお手本がすごく上手で読みたいと思ったので、私もそんな発表ができるようにしたいです。

2時：どのように話すのかの工夫が難しかった。

3時：思ったより上手に発表できたし、みんなの発表もすごく上手で読んでみたいと思いました！



聞き手を意識しながら発表